

確認事項リスト（下水道課）

行政指導によるもの

必要資料

- ・排水施設計画平面図
- ・縦断面図
- ・横断面図
- ・取付管標準断面図（東海市標準図）
- ・東海市下水道標準図（必要箇所）

設計計画・図面の作成について

平面図

- 下水道本管の位置は道路センターから0.75mずらした位置としてください。
- マンホールの曲り角度は鋭角にしないでください。
- 取付管の本管接続の角度は90°としてください。
- 公共柵は官民境界から2m以内に設置する計画にしてください。
- 他埋設との並行離隔は30cm確保してください。

縦断面図

- マンホール高Hは、地盤高－管底高で算出し記載してください。
- 他埋設との交差離隔は10cm確保してください。

横断面図

- 埋設シートの位置は管上から30cmの位置としてください。
- 管下・管上10cmは砂基礎としてください。

マンホール

- マンホール選定の優先順位は1号→A1号→小型としてください。
- マンホール鉄蓋は東海市指定のものとしてください。

マンホール鉄蓋は適切な規格（車道部T 2 5、歩道部はT 1 4）のものを使用し、耐圧荷重を記入してください。

本管の組立マンホール接続は可とう継手としてください。

取付管

平面図に取付管のタイプをAタイプかBタイプか明示してください。

取付管の接続に他埋設物は支障にならないか確認してください。他埋設物を考慮して、取付管が設置できるか検討してください。

取付管の管径は適切（基本的に汚水φ100、雨水φ200）にしてください。

公共柵

公共マスの蓋は市章入りのものを使用してください。

公共柵は汚水φ200 雨水φ300としてください。